

# 観光客の地方分散化に向けた交通実態調査（イギリス）

## 【調査目的】

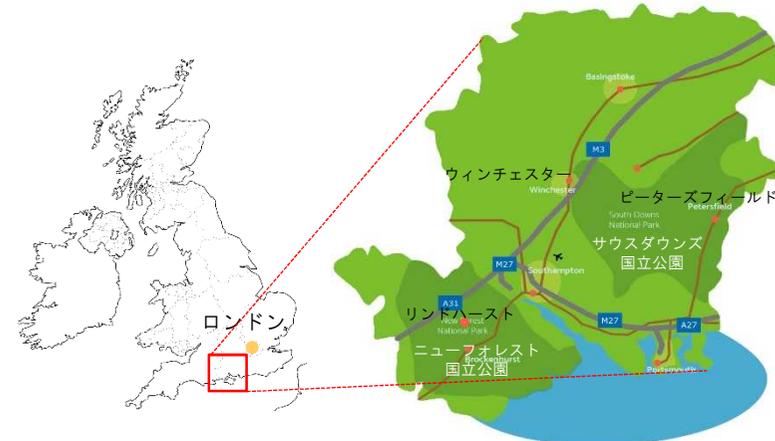
- ・ ハンプシャー州政府等は、観光客に対して自家用車ではなく公共交通による国立公園内の周遊を推進していることから、その取組を参考とするべく実態を調査。

## 【調査エリア】

- ・ ピーターズフィールド（サウスダウンズ国立公園）及び  
リンドハースト（ニューフォレスト国立公園）

## 【調査ルート】

- ・ ロンドン → ウィンチェスター → ピーターズフィールド → リンドハースト → ウィンチェスター



調査エリア位置図

出典：ハンプシャー州資料をもとに作図

（左から）①ウィンチェスター市中心部にあるバスセンター、②ピーターズフィールド市中心街、③リンドハーストの街並み

写真：国土交通省



## 【調査結果】

### ○交通ネットワーク

#### ＜サウスダウンズ国立公園＞

- ・ ロンドンからサウスダウンズ国立公園近郊都市であるウィンチェスターまでは鉄道アクセスがメインで、71便/日運行しており、所要時間は60～70分程度
- ・ 公園内を周遊するバス便は、ウィンチェスターやピーターズフィールド等の各地から出ているが本数が少なく（6便/日程度）、一部の観光スポットはバスではアクセス不可

#### ＜ニューフォレスト国立公園＞

- ・ 観光シーズンのみ公園内を周遊する定期観光バス「ニューフォレストツアーバス」や「ビーチバス」を運行（8便/日）
- ・ 既存のバス路線をアップグレードした通年運行バス「フォレストバス」が鉄道駅と公園内の都市間を結ぶ（10便/日）



既存のバス路線をアップグレードした通年型運行の「フォレストバス」

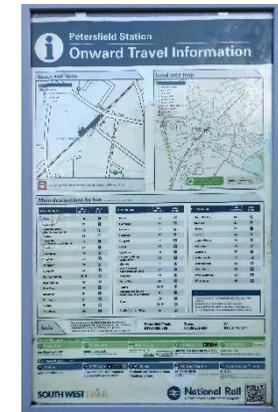
写真：国土交通省

## ○交通サービス（運賃、支払、車両設備等）

- ・多くの路線バスの車内においてクレジットカード等による運賃支払いが可能
- ・日本とは異なり、運転手が釣銭を用意
- ・多くの列車・バス車内において無料Wi-Fiが利用可能
- ・一部の列車には、自転車専用スペースを完備し、荷物スペースを設けた車両も導入
- ・列車内に電光掲示板は設置されているが、乗換案内はない
- ・路線バスは車内アナウンスがない為、降車する際は注意が必要

## ○現地での誘導案内

- ・駅での二次交通の乗場への案内や誘導に関する情報は少なく、初めての訪問者にとっては不便
- ・多くのバス停は、時刻表と主要バス停までの所要時間を示した情報しかなく、路線図や運賃情報はないが、公共交通機関ルート・時刻検索サービス「Traveline（トラベライン）」の表示があり、電話番号とURLが記されている為、通信環境が整った場所であれば現地で交通情報や移動計画を入手することが可能



ピーターズフィールド駅での二次交通の乗場案内と行先案内板

写真：国土交通省

## ○案内所

### <ピーターズフィールド>

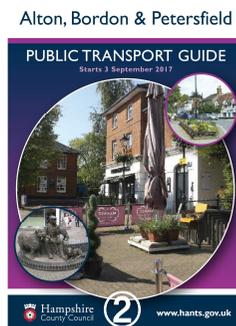
- ・公園内及び州内の路線バス、鉄道、フェリーのトラベルガイド、時刻表を配布
- ・観光専門のコーディネーターを配置し、公園内における観光スポットへのアクセス方法等について案内

### <リンドハースト>

- ・公共交通に関する情報提供はなく、公園の地図やパンフレット類は全て有料
- ・ニューフォレスト国立公園の公式ホームページでは、公園内を運行する路線バスと定期観光バスの路線図を掲載



①



②



③

（左から）①観光専門のコーディネーターを配置しているピーターズフィールド観光案内所、②観光案内所で配布している公共交通ガイド（時刻表）③ニューフォレスト国立公園のウェブサイトに掲載されている公園内のバス路線図

写真：国土交通省

出典：ハンプシャー州政府、

ニューフォレスト国立公園ウェブサイト

## 【参考となる取組】

### ○クレジットカード等によるバス運賃支払の導入

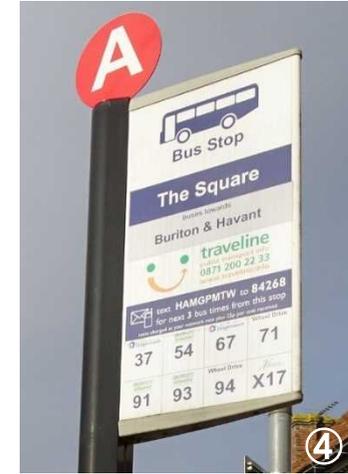
- ・ハンプシャー州のバス事業者「BlueStar（ブルースター社）」や「Stagecoach（ステージコーチ社）」では、路線バスの車内において、ICチップ付きクレジットカード等で運賃を支払うことが可能

### ○列車・バス車内で無料Wi-Fiサービスの導入

- ・イギリス国内の多くの鉄道路線、長距離バス、都市間バス、路線バス車内で無料Wi-Fiサービスを導入
- ・乗客は誰でも自由に使える、事前登録等を必要としない場合が多く、利用しやすい
- ・一部の車両にはUSBポートが設置され、携帯端末の充電が可能

### ○一元化された交通情報の提供

- ・ハンプシャー州内の自治体と交通事業者がコンソーシアムを設立し、「Traveline（トラベライン）」という公共交通機関ルート・時刻検索サービスを導入し、一元化された交通情報を利用者に提供

 A photograph of a bus stop sign for Ashurst Station. The sign is white with green and black text. It includes the bus stop name "Ashurst Station", the route "Lyndhurst", and the Traveline logo. A circled number "3" is in the bottom right corner.

（左から）①ICチップ付きクレジットカード等での運賃支払が可能である旨の案内板（BlueStarバス）、②バス車内カードリーダー（Stagecoachバス）、③及び④「Traveline」の表示があるバス停（Ashurst Stationバス停、The Square/Petersfieldバス停）

写真：国土交通省

# 観光客の地方分散化に向けた交通実態調査（スペイン）

## 【調査目的】

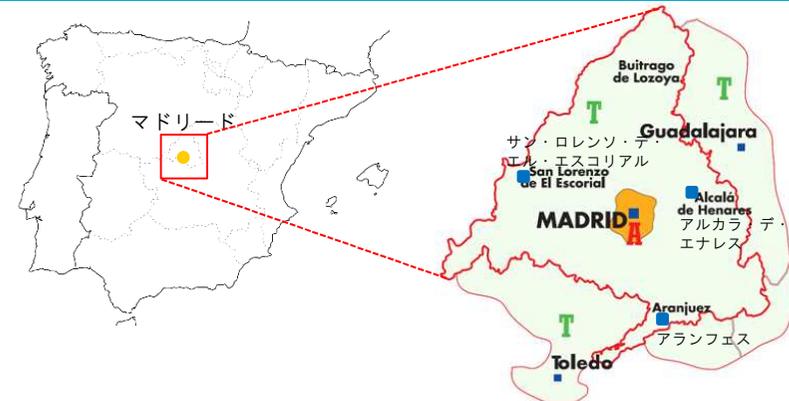
- ・ マドリッド州政府は、マドリッド中心部に集中する観光客の地方への分散を図る取組を実施していることから、その取組を参考とすべく実態を調査。

## 【調査エリア】

- ・ サン・ロレンソ・デ・エル・エスコリアル、アランフェス及びアルカラ・デ・エナレス

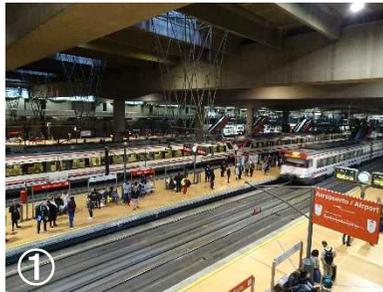
## 【調査ルート】

- ・ マドリッド中心部 → サン・ロレンソ・デ・エル・エスコリアル → （マドリッド経由） → アランフェス → （マドリッド経由） → アルカラ・デ・エナレス → マドリッド中心部



調査エリア位置図

出典：マドリッド州政府文化観光スポーツ省資料をもとに作図



①



②



③

- (左から) ①マドリッド最大の駅であり、ハブ機能を持つアトーチャ・セルカニアス駅、②サン・ロレンソ・デ・エル・エスコリアル・バスターミナル、③アランフェス駅前バス乗場

写真：国土交通省

## 【調査結果】

### ○交通ネットワーク

- ・ 州政府は、公共交通と自転車を組み合わせ、郊外の観光地を周遊する自転車ルート「Cicla Madrid」を整備
- ・ 公共交通機関で郊外を周遊するには、一度マドリッドを経由する必要がある、公共交通機関での周遊はほぼ不可能
- ・ マドリッド中心部と郊外を結ぶ鉄道（近郊路線）と都市間バスの本数は多い（60～132便/日）が、調査エリア間を結ぶバス路線はなし
- ・ 鉄道と路線バスとの接続は概ね考慮されている模様
- ・ アランフェスでは、市内の観光名所を周遊する手段として、汽車型観光ミニバス「チキトレン（Chiquitrén）」が運行



アランフェス市内の観光名所を周遊するミニバス「チキトレン」

写真：国土交通省

## ○交通サービス（運賃、支払、車両設備等）

- ・ 州内全ての公共交通機関で有効期間内であれば何度でも乗車できる交通パス「ツーリストチケット」が利用可能
- ・ 「ツーリストチケット」はオンラインで事前購入が不可の為、駅の券売機での購入が必要
- ・ 券売機は英・仏・独語に対応しているが、一部は現地語のみである為、現地語に慣れない外国人にとって購入は容易ではない
- ・ 駅の行先案内表示（電光掲示板）はスペイン語表記のみ
- ・ 列車内には電光掲示板が設置されており、車内放送と乗換案内は英語でも実施
- ・ 路線バスの車内アナウンスの有無は運行事業者によって異なる



（左から）①タッチパネル式券売機（スペイン語表記）、②同左（英語表記）、③スペイン語表記の行先案内板（アトーチャ・セルカニアス駅）、④スペイン語表記の行先電光掲示板（同左）  
写真：国土交通省

## ○現地での誘導案内

- ・ 駅での二次交通の乗場への案内や誘導に関する情報、観光情報はない
- ・ 調査エリアによっては、市内の観光名所等を紹介する写真と地図付きの案内板（スペイン語・英語表記）が設置
- ・ 主要バス停には、共通デザインのバス路線図が設置されており、異なる事業者の路線も網羅



（左から）①主要バス停に設置されている共通デザインの路線図、②観光名所等を写真や地図付きで紹介する案内板、③同左（拡大）

写真：国土交通省

## ○案内所

・マドリッド州政府が推進する自転車周遊ルートについて、各観光案内所の職員とも詳細をまだ把握していなかった様子

<サン・ロレンソ・デ・エル・エスコリアル>

・提供している観光情報の多くがスペイン語 (⇒観光客の大半がスペイン人)

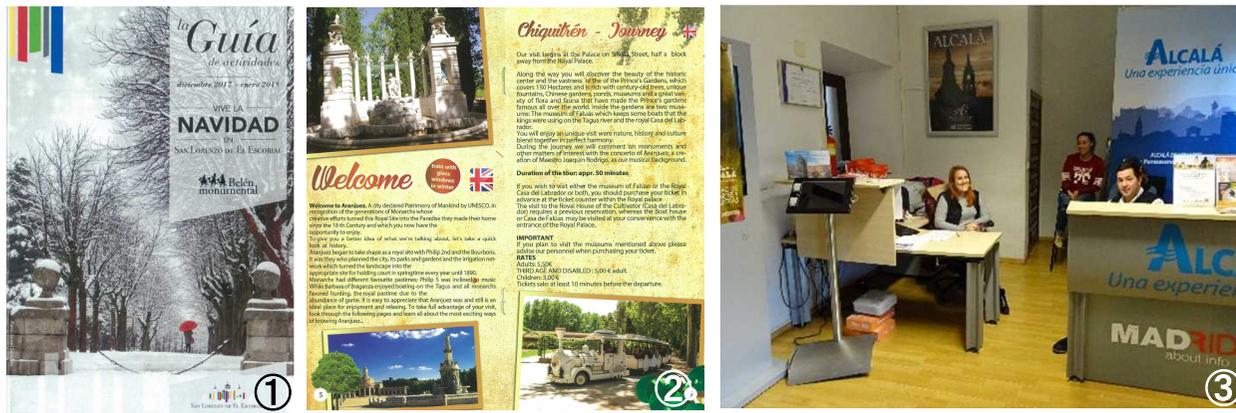
<アランフェス>

・公共交通に関する情報の提供はなかったが、職員は地元の公共交通情報に精通

<アルカラ・デ・エナレス>

・多言語 (英語・スペイン語・仏語・独語・中国語) の観光パンフレットを用意

・職員全員が英語での対応が可能で、イタリア語とドイツ語が話せる職員と手話対応が可能な職員を配置



(左から) ①サン・ロレンソ・デ・エル・エスコリアル観光案内所で配布しているスペイン語の観光パンフレット、②アランフェス観光案内所で配布している英語版の観光パンフレット、③手話対応が可能な職員を配置しているアルカラ・デ・エナレス観光案内所

写真：国土交通省

出典：サン・ロレンソ・デ・エル・エスコリアル市、アランフェス観光局

## 【参考となる取組】

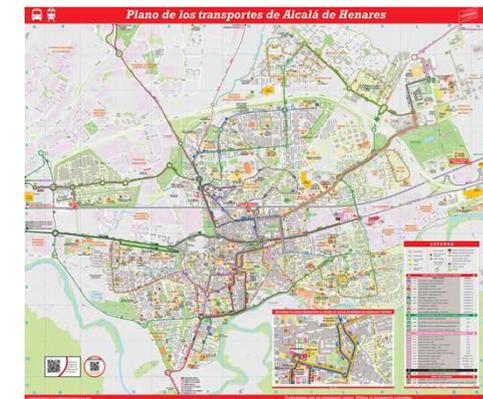
### ○共通デザインのバス路線図の導入

・マドリッド州地域運輸連合では、連合に属する自治体のバス路線図を主要バス停に設置

・バス路線図は、異なるバス事業者路線や他の公共交通機関も網羅

・路線 (市内バス、都市間バス、広域バス等) ごとにナンバリングと統一カラーを導入し、スペイン語のみではあるが、観光客にも視覚的に分かりやすいように共通デザインで統一

・地域運輸連合の公式ホームページから連合に属する全市町村のバス路線図のダウンロードが可能



共通デザインのバス路線図

出典：マドリッド州地域運輸連合